



ISO 14001 :

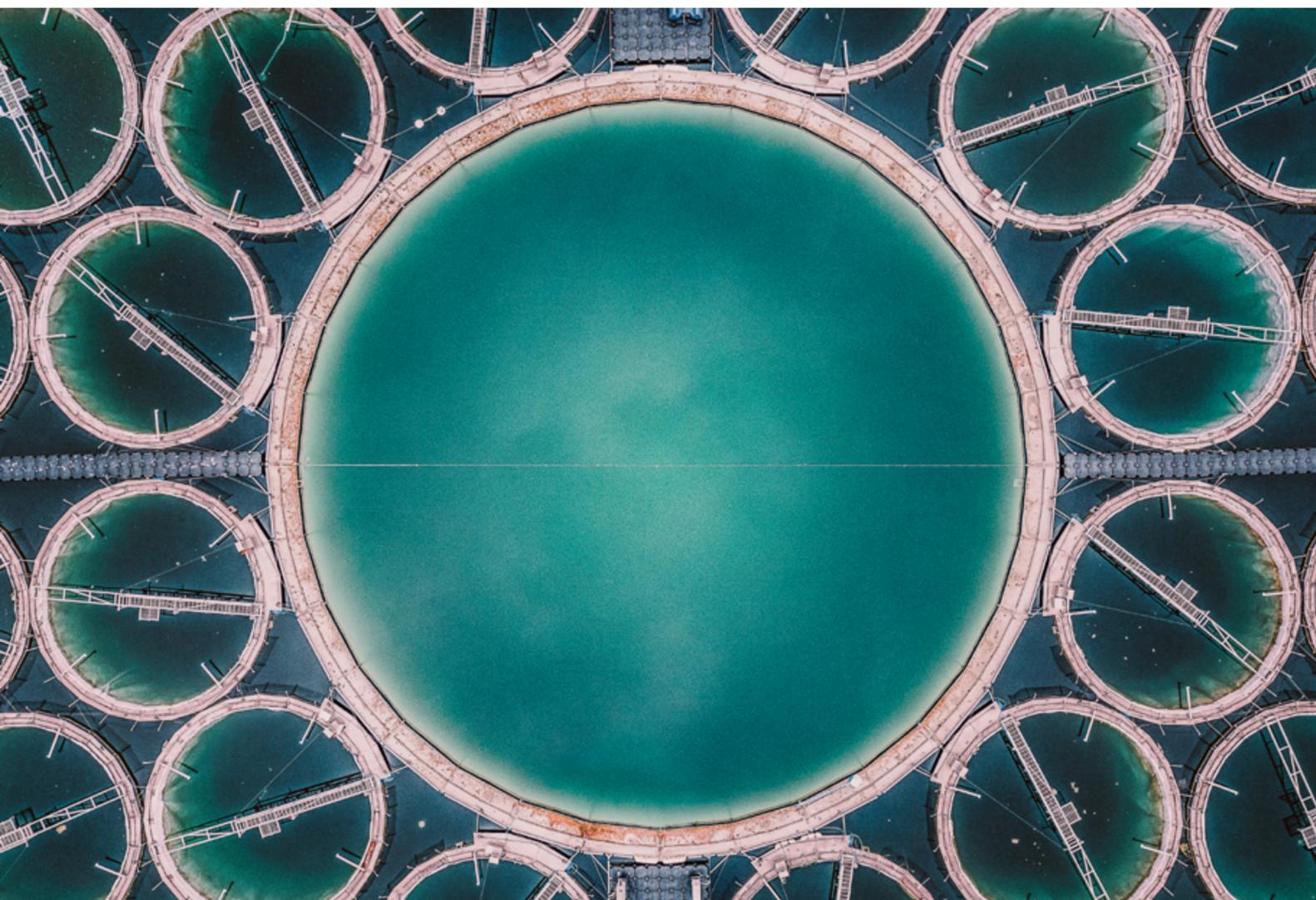
# 環境側面の マネジメント



# ISO 14001 : 環境側面のマネジメント

[戻る](#)

[次へ](#)



組織の環境側面を識別し評価するプロセスは、環境マネジメントシステム（EMS）全体の基礎となるものです。これは基本的な中核であり、そこから組織の環境リスクが管理され、機会が実現され、継続的改善が達成されます。本稿では、環境側面とは何か、そのマネジメントには何が伴うか、環境側面マネジメントの重要性、および環境側面をマネジメントするプロセスを実施するための主要な段階について説明し、堅牢な EMS への適切な道筋を示します。

# 環境側面とは何か

[戻る](#)

[次へ](#)



環境側面とは、組織の活動、製品、またはサービスの要素であり、環境とプラスまたはマイナスに相互作用する可能性があって、日常的または頻度の少ない業務や緊急事態において、クライアントが直接的な管理策または影響力を持つものです。基本的に、これはクライアントが何をするか、何を作るか、何を提供するかということです。

このような環境との相互作用は、原料の入手から設計、生産、出荷、製品の使用、使用後の処理、最終処分に至るまでのライフサイクルのすべての段階で発生する可能性があるため、考慮する必要があります。

ゆえに、環境側面には一般に、使用される原料、資源、およびエネルギー、生成される廃棄物、大気、水、または土地への排出物、および騒音、振動、光などその他の潜在的な妨害排出物のような要素が含まれます。

環境側面を正確に特定、評価、管理し、レビューをすることの重要性は明白と言えます。



# 環境側面のマネジメントとは何か

[戻る](#)

[次へ](#)



これらの環境側面を管理するプロセスは、次のとおりです。

1

組織が環境と相互作用しうるすべての方法を特定する

2

環境に重大な影響を与える可能性を持つものを特定するために、それぞれの関連する環境影響を決定する

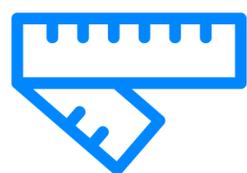
3

重要と思われるものを監視および管理するための管理策と、削減および改善するためのアクションを実施する。



# 環境側面のマネジメントの段階

効果的な側面マネジメントには、いくつかの段階があります。



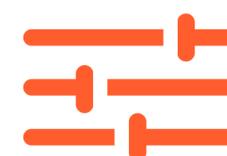
## 1 EMSの範囲の定義

組織の環境側面の特定を始める前に、まず組織とEMSの境界を定義する必要があります。これには、組織が何に対して管理策と影響力を持っているかを判断するために、物理的境界、組織単位と機能、およびそれらの活動などの要素を考慮する必要があります。



## 2 環境側面の特定

EMSの対象範囲を明確に定義した上で、環境側面の検討を開始することができます。これには、正確な結果を出すため、すべての領域、活動、ライフサイクルの各段階の理解を確保するために、組織の幅広い範囲からのインプットが必要です。現場視察、プロセスの確認、従業員へのインタビュー、ブレーストーミング、またはこれらと同様の手法の併用などのアプローチを含むことが考えられます。



## 3 環境側面の評価基準と基準値の決定

環境側面を明確化した上で、次の段階は、その側面が環境に重大な影響を与える可能性があるかどうかを評価するために使用する判断基準を決定することです。このアプローチは、側面の大きさと頻度や、影響の深刻度、規模、期間などに注目する定量的なものとなる場合も、法的要求事項、利害関係者の懸念、または親会社の目標などの判断基準を考慮した単純なイエス / ノーのアプローチを用いる定性的なものとなる場合もあります。また、複数のアプローチを併用することもできます。

判断基準に加えて、その側面が重要であると見なされる基準値を定義する必要があります。本質的に、ある側面が管理や改善を必要とする重要な環境影響を及ぼす可能性を持つ場合、基準値は重要になります。

# 環境側面のマネジメントの段階



## 4 側面の重要性の評価

判断基準を定義すると、これらを特定された側面に簡単に適用して、重要な側面を確認することができます。



## 5 重要な側面の管理

重要な側面が確認されたら、次の段階は、それぞれに必要とされる可能性のある監視、マネジメントおよび改善措置を決定することです。ある側面が重要であると判断された場合、技術的管理策や手順など、確実に管理するための管理策を実施しなければなりません。さらに、目標と改善を達成するために必要な基本的行動を設定することによって、側面の重要度を減らすための改善を計画することができます。



## 6 側面のレビュー

効果的な側面マネジメントの最後の要素は、定期的なレビューです。側面の特定と評価は1回限りの作業ではなく、すべての側面について、組織内外の変化が考慮され、EMSに反映されていることを確実にするためのレビューが必要です。法規制、製品設計、使用原料、サプライチェーンパートナーなどの多くの領域での変更は、側面の重要度に肯定的にも否定的にも影響を与える可能性があり、定期的なレビューによって、リスクと機会が見落とされず、EMSが継続的改善を提供し続けることを確保できます。

環境側面を精確に特定し、評価し、管理し、レビューすることの重要性は明らかです。このEMSの基盤は、他のすべての要素の有効性に影響を与えます。そのため、効果的でない側面マネジメントプロセスは効果的でないEMSをもたらし、管理されていないリスク、機会の逸失、最終的には失敗に繋がる可能性があります。

# LRQA を選んだ理由

[戻る](#)

[次へ](#)



LRQA は、25 年以上にわたって環境マネジメントシステムの規格、評価、認証の開発に携わってきました。

LRQA の技術専門家は、ISO 14001:2015 を開発した ISO 専門委員会の一員であり、規格の要求事項とその背景にある論理について実体験に基づいたインサイトを提供できます。LRQA の審査員は、各セクターに特化した知識と専門知識に基づいて選ばれます。つまり、どのようなセクターであっても、クライアントが直面している環境上の課題と、クライアントに開かれている機会を理解することができます。

LRQA の審査員であれば、そのプロセスが引き続き堅牢であり、効果的なリスクマネジメント、機会の識別、および環境パフォーマンスの継続的改善を促進することを確実にするよう、側面マネジメントプロセスへの取組みを支援できます。





YOUR FUTURE. OUR FOCUS.

## LRQA について

認証・サイバーセキュリティ・検査・教育研修分野の比類なき専門知識を結集することにより、当社は世界的な認証のリーディングプロバイダーの地位を確保しています。

その伝統は誇るべきものですが、顧客との今後のパートナー関係を構築する上で、本当に重要なのは現在の当社の姿です。揺るぎない価値・リスク管理、軽減における数十年の経験・未来への的確なフォーカスを組み合わせることで、より安心・安全・持続可能なビジネス構築に向けてお客様をいつでも支援します。

独立した審査・認証・教育研修から、リアルタイムの認証技術・データによるサプライチェーン改革まで、当社の革新的なエンドツーエンドのソリューションが、変化の速いリスク環境に積極的に対処できるようお客様をサポートします。つまり、未来の状況を成り行きに任せるとはならず、お客様が自ら構築できるようになるのです。

## お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/> をご覧ください。



### LRQA リミテッド

〒220-6010

横浜市西区みなとみらい 2-3-1

クイーンズタワー A10 階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。

LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。詳細については [www.lrqa.com/entities](http://www.lrqa.com/entities) をご参照ください。

© LRQA Group Limited 2022